

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

第4期（2019年度）事業報告書

～ 安全・安心で魅力ある福祉を目指して ～

目次

はじめに	1
総会及び理事会等の開催	3
第3回公開シンポジウム	4
研修の実施	7
被災地への支援	19
福祉防災認定コーチ、上級コーチ認定者	22
展示会等への出展やマスコミ等による紹介	23
フェイスブックによる情報発信（災害関係のみ）	26
その他の活動	29
2019年度の成果（実績）とインパクト	32
2019年度の成果を受けた新たな課題	48
2020年度の実施内容	49
法人情報	51

はじめに

会長挨拶

今年は新型コロナウイルス感染症の流行で社会が一変しました。医療職と同様に、福祉職員もまた、エッセンシャルワーカーとして福祉の最前線で緊張の日々を送られています。改めて、心からの感謝を申し上げます。

私たちは、福祉施設においては火災や災害時に避難する「消防計画」に加え、利用者と職員の安全な避難を確保する「避難確保計画」、避難先での福祉サービスの継続を行う「事業継続計画（BCP）」、福祉避難所など地域貢献・連携を行う「福祉避難所計画」が必要であることをアピールしてきました。これに新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策も強化しなければなりません。

私たちが目指す「福祉防災計画」は、1つの計画で、これらすべての危機に対応できるものです。すべての福祉施設が、大災害にも感染症にも、そして複合災害にも対応できる「福祉防災計画」を作成し、福祉関係職員の災害対応能力向上と平時からの魅力増進を支援することが、本協会のミッションです。

2019年度は、（一財）消防防災科学センター様からの委託事業により、静岡県、和歌山県、三重県、山口県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施しました。本年度も、すでに6県で福祉避難所マニュアル作成研修が決まっています。また、自治体、社会福祉協議会、学校、地域団体やボランティア団体等から多様な研修依頼が多くなっています。毎年、連続して研修依頼されることも増えており、ご期待に身が引き締まる思いです。

今年は、埼玉福祉会様との協力により、念願だった防災スタートBOX、福祉避難所開設BOXの発売が決まりました。これで、初動対応が格段にスムーズに進められます。これに、停電対策の給電器、水不要で清潔に処理できるバリアフリースイッチを組み合わせた「みんな元気になる福祉避難所」事業を進めてまいります。

障がい者や高齢者と地域とのつながりが弱くなり、社会インフラに依存する都市型社会にあっては、「一緒に助かる」ための危機管理が極めて重要です。

今後とも本協会に対し、関係者各位のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2020年6月吉日

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 会長 浅野 史郎

活動の目的

全国の福祉施設や職員の災害対応能力向上と魅力増進を支援するために、防災・事業継続計画（BCP）研修等の事業を行うとともに、平時からの福祉防災コミュニティづくりと災害時の福祉支援を行うこと。

会長、顧問、理事、監事名簿

会長	浅野 史郎	神奈川大学特別招聘教授
顧問	岸田 宏司	和洋女子大学学長
顧問	高橋 紘	東京都福祉施設士会会長
顧問	立木 茂雄	同志社大学社会学部教授
顧問	中林 一樹	首都大学東京・東京都立大学名誉教授
顧問	林 春男	防災科学技術研究所理事長
顧問	原口 兼正	東京都市大学客員教授
顧問	室崎 益輝	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長
顧問	目黒 公郎	東京大学大学院生産技術研究所教授
代表理事	鍵屋 一	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
副理事長	高橋 洋	株式会社防災都市計画研究所シニアコンサルタント
副理事長	田中 正博	全国手をつなぐ育成会連合会事務局統括
副理事長	田村 圭子	新潟大学危機管理本部危機管理室教授
副理事長	丸谷 浩明	東北大学災害科学国際研究所教授
副理事長	横内 康行	東京都セルプセンター事務局長
理事	石川 淳哉	一般社団法人助けあいジャパン共同代表理事
理事	石塚 由江	防災士・防災アドバイザー
理事・会計	梅山 吾郎	S O M P O リスクマネジメント株式会社 B C M コンサルティング部
理事	岡橋 生幸	株式会社クオリティサポート代表取締役社長
理事	柄谷 友香	名城大学都市情報学部教授
理事	国崎 信江	株式会社危機管理教育研究所代表
理事	寿乃田 正人	東急株式会社 沿線生活創造事業部
理事	竹本 加良子	株式会社サイエンスクラフト代表取締役社長
理事	岸川 英樹	日本ミクニヤ株式会社執行役員東京支店長
理事	吉川 忠寛	株式会社防災都市計画研究所代表取締役所長
監事	浅野 幸子	減災と男女共同参画研修推進センター共同代表
監事	岡野谷 純	特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ理事長
監事	中川 和之	株式会社時事通信社解説委員
事務局	上園 智美	日本ミクニヤ株式会社東京支店防災部

総会及び理事会等の開催

総会、理事会及び理事会WGを開催し、協会の取り組み内容の検討等を実施した。

開催日	内容	場所
2019年4月9日	理事WG	ちよだプラットフォームスクウェア
2019年5月14日	理事WG	ちよだプラットフォームスクウェア
2019年5月18日	理事会	ちよだプラットフォームスクウェア
2019年6月8日	総会	千代田区社会福祉協議会研修室
2019年8月5日	理事WG	ちよだプラットフォームスクウェア
2019年10月5日	理事WG	ちよだプラットフォームスクウェア
2020年3月24日	理事WG	ちよだプラットフォームスクウェア



第3回公開シンポジウム

第3回公開シンポジウムを2019年6月8日（土）に開催した。

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 室長補佐 鈴木敏弘 様、本協会顧問・東京都市大学 客員教授・元SECOM株式会社 代表取締役社長 原口兼正 氏からご祝辞を頂いた後、浅野史郎会長が基調講演「障がい者の受援力」を行った。

シンポジウム後半は、パネルディスカッション「障がい者、高齢者の避難生活を支える力 ～福祉ボランティア、福祉避難所～」が行われた。パネリストに佐谷説子様（内閣府政策統括官 防災担当 付 参事官 普及啓発・連携担当）、友枝篤宣様（熊本市 健康福祉局 障がい者支援部 障がい保健福祉課 課長）、内出幸美様（社会福祉法人 典人会 専務理事）、湯井恵美子氏（本協会上級コーチ・防災企業連合 関西そなえ隊事務局）を迎え、鍵屋一代表理事がコーディネーターを務めた。また2018年度の協会活動報告および2019年度活動計画報告を行い、新しく誕生した2名の上級コーチの認定式、みんな元気になるトイレ・みんな元気になる福祉避難所のプレゼンを行い、滞りなく会を終了した。

会場には、かくだい君、ラップポイントレ、可搬型外部給電機（HONDA）の展示も行われた。

シンポジウム開催後の意見交換会ではアットホームな雰囲気の中、様々な分野の方たちが集まり、魅力ある福祉について意見を交わした。

（一社）福祉防災コミュニティ協会 第3回公開シンポジウム

障がい者、高齢者の 避難生活を支える力

<p>後援 千代田区社会福祉協議会</p> <p>日時 2019年 6月 8日（土） 受付 13:30～</p> <p>公開シンポジウム 14:00～17:00 意見交換会 17:30～19:00</p> <p>場所 千代田区社会福祉協議会 研修室1・2 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-10 かがやきプラザ4階</p> <p>参加費 シンポジウム：無料 意見交換会：4,000円</p> <p>定員 80名</p>	<p>基調講演（14:00～） 障がい者の受援力 浅野 史郎 本協会会長・神奈川大学特別招聘教授・元宮城県知事</p> <p>パネルディスカッション（15:00～） 障がい者、高齢者の避難生活を支える力 ～福祉ボランティア、福祉避難所～ 【パネリスト】 佐谷 説子 さん 内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（普及啓発・連携担当） 友枝 篤宣 さん 熊本市 健康福祉局 障がい者支援部 障がい保健福祉課 課長 内出 幸美 さん 社会福祉法人 典人会 専務理事 湯井 恵美子 さん 本協会上級コーチ・防災企業連合 関西そなえ隊事務局</p> <p>【コーディネーター】 鍵屋 一 本協会代表理事</p> <p>意見交換会（17:30～） 事前登録制：参加費4,000円 シンポジウム終了後、登壇者と共に意見交換会を行います。 (括弧内の時間は、目安です。ご了承ください。)</p>
--	---

← お申込みはこちらから。
協会ホームページでも受け付けております。

【協会ホームページ】 <http://fukushi-bousai.jp/index.html>
【申込み締切】2019年5月31日（金）
問合せメールアドレス fukushibousai@gmail.com





研修の実施

主な研修の実施内容を以下に示す。

(1) 一般財団法人 消防防災科学センターからの受託研修

開催場所である4県の担当者から、市町村で災害時に重要な役割をする福祉関係者（福祉関係部局、社会福祉協議会、福祉施設の職員など）を対象に研修参加者の募集を行い、各所で2回の「福祉避難所の設置・運営に関する実務研修」を実施した。

研修の開催日・会場は、実施団体との調整により下表のように決定した。なお、今回実施した4県での述べ参加人数は、450名であった。

開催日	場所/回数	会場	講師	参加者数
2019/7/9	静岡県：1回目	静岡県庁別館5階 危機管理センター	上園、横内	61
2019/8/7	静岡県：2回目	静岡県庁別館5階 危機管理センター	高橋、湯井	51
2019/8/7	和歌山県 ：1回目	和歌山県立情報交流センター BigU 研修室2	上園、石塚	70
2019/8/30	三重県：1回目	三重県総合文化センター 会議室	上園、湯井	23
2019/9/9	和歌山県 ：2回目	和歌山県庁南別館 防災対策室201	湯井	68
2019/10/8	三重県：2回目	三重県総合文化センター 会議室	湯井、上園	22
2019/12/20	山口県：1回目	山口県庁3階職員ホール	鍵屋、中井	85
2020/2/4	山口県：2回目	山口県庁1階視聴覚室	上園、中井	70
被災により 中止	佐賀県：1回目			
	佐賀県：2回目			
合計				450

今年度の研修では、佐賀県も開催場所として採択されていたが、2019年8月の前線に伴う大雨により大規模な被害を受け、「マンパワーが弱体で災害後の復旧・復興対策に手一杯のため、年度内に研修を受け入れる余地はない」との回答があったため、研修中止となった。

また和歌山県の2回目研修では、台風接近のため交通網に混乱が発生し、関東からの講師派遣が出来なかったため、講師1名での開催となった。

研修の全体スケジュールは、次の通りである。

	時間	タイトル	内 容
前期 研修	13:00 ～13:30	受付 事務連絡等	受付（貴組織でご対応ください） 開始前に、事務連絡・事前アンケート記入
	13:30 ～14:15	大災害及び福祉 避難所の状況	【講義】 (1)過去の大災害と教訓 (2)福祉避難所設置・運営の現状と課題
	14:15 ～14:40	災害と福祉関係 者のイメージづくり	【演習】 (3)被災者の災害エスノグラフィを読み、課題や教訓を抽出し つイメージづくりを行う
		休憩	
	14:55 ～16:20	グループワーク	【演習】 (4)参加者4人ずつのグループワーク（ワールドカフェ）で、災害 及び福祉避難所イメージの強化とアイデア出し (5)グループワークの成果紹介
	16:20 ～17:00	マニュアル作成方 法説明	【講義】 (6)福祉避難所マニュアルの作成方法をひな型で説明 ※ 後日マニュアルひな型を電子データで交付
素案 作成	1～2か月間	各組織でマニユ アルの素案作成	(1)職員アンケートにより、福祉関係者等のリスク、災害時の不安、 参集可能性、自助の状況等を把握 (2)職員のグループワーク等で議論し、ひな型の自施設特有部分 を埋め、改良 (3)福祉避難所マニュアル素案を作成 ※ ここで作成したマニュアルを後期に持参
後期 研修	13:00 ～13:30	受付 事務連絡等	受付（貴組織でご対応ください） 開始直前に、事務連絡等
	13:30 ～14:00	重要ポイントの解 説	【講義】 (1)前期研修のおさらい (2)福祉避難所マニュアル作成の重要ポイント
	14:00 ～15:15	グループワーク	【演習】 (3)参加者4人ずつのグループワーク（ブレインストーミング）と 講師の助言
		休憩	
	15:30 ～16:20	初動対応とマニユ アルのレベルアッ プ、継続性	【講義】 (4)初動対応スタートキット (5)福祉避難所マニュアルのレベルアップ事例紹介 (6)マニュアルに基づく訓練、検証、見直し継続への展開
	16:20 ～16:30	質疑応答	【講義】 (7)質疑を受け、講師が応答 (8)各自の福祉マニュアル第1版が完成 (9)振り返り、アンケート記入

1回目の研修では、福祉避難所の必要性、概要、現場の状況についての講義、福祉避難所をどう運営するかについて参加者同士でワークショップ、マニュアルひな形を活用した福祉避難所マニュアルの作成手法の講義を実施した。1回目と2回目の研修は1ヶ月程度の間隔を開け、出身組織に戻った参加者が中心となり、アンケートや職員のグループワークにより自地域、施設の状況に合わせてマニュアル素案を作成した。2回目の研修では、各自のマニュアルを持ち寄り、相互参照や講師の助言等によりレベルアップを図るとともに、初動対応について講義を実施した。これにより実効性の高いマニュアルが成果となった。

ここでは、各研修を実施した状況をまとめる。

① 静岡県

静岡県では、危機管理部危機対策課と調整を行った結果、1回目研修と2回目研修の間はおおよそ1ヶ月となった。参加者数の推移は、下表のとおりである。

参加者のほとんどは行政職員であったため、行政職員側に知っておいてもらいたいこと、行政側に必要な視点を強調して研修を行った。

静岡県	開催日	参加者数	備考
1回目	2019/7/9	61	10名減少 (83.6%)
2回目	2019/8/7	51	



静岡県 1回目の様子



静岡県 2回目の様子

② 三重県

三重県では、子ども・福祉部子ども・福祉総務課と調整を行った結果、1回目研修と2回目研修の間はおよそ2ヶ月となった。参加者数の推移は、下表のとおりである。

参加者のほとんどは行政職員であり、グループディスカッションでの話題は、災害時の介護保険の使い方、ファイルの保存方法、情報共有についてなど、福祉避難所の管理についてよく話し合われていた。

三重県	開催日	参加者数	備考
1回目	2019/8/30	23	1名減少 (95.6%)
2回目	2019/10/8	22	



三重県 1回目の様子



三重県 2回目の様子

③ 和歌山県

和歌山県では、福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課と調整を行った結果、1回目研修と2回目研修の間はおよそ1ヶ月となった。参加者数の推移は、下表のとおりである。

参加者のほとんどは福祉事業者関係であった。会場の都合もあり1班6名のワークとなったため、ワークの進み具合（話の進み具合）があまりよくなかった部分があった。聴覚障がい者の参加があったため、県から手話通訳（3名）が準備されており、ワーク時も付いていただいたので特に問題はなかった。

和歌山県	開催日	参加者数	備考
1回目	2019/8/7	70	2名減少
2回目	2019/9/9	68	(97%)



和歌山県 1回目の様子



和歌山県 2回目の様子

④ 山口県

山口県では、総務部防災危機管理課と調整を行った結果、1回目研修と2回目研修の間はおよそ1ヶ月半となった。参加者数の推移は、下表のとおりである。

参加者の半数以上は福祉避難施設職員、残り半数も市町職員と社協職員であり、バランスの良い構成であった。グループワークでは活発な意見交換がなされ、マニュアル素案をきちんと作成して参加された参加者がほとんどであった。

山口県	開催日	参加者数	備考
1回目	2019/12/20	85	15名減少 (82.3%)
2回目	2020/2/4	70	



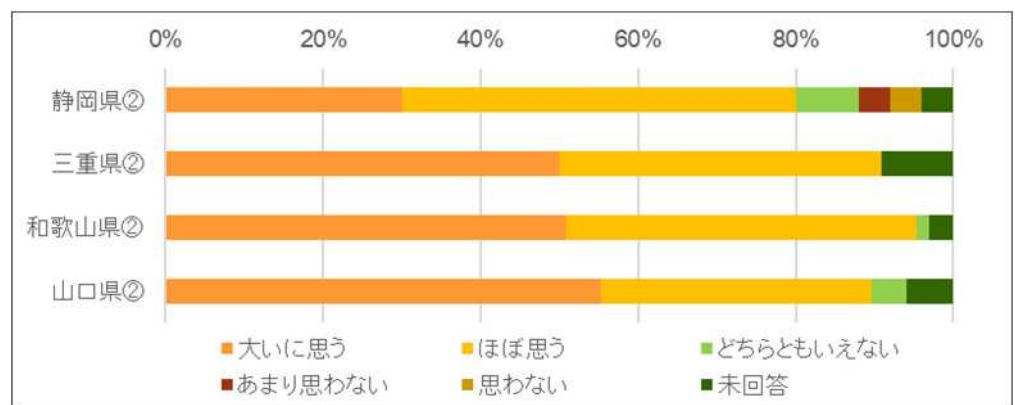
山口県1回目の様子



山口県2回目の様子

消防防災科学センター作成のアンケート内容のうち、2回目研修後の「研修を受講してよかったと思いますか」の項目を、下記に示す。いずれの開催地でも、「大いに思う」「ほぼ思う」の合計は80%を超えており、本研修における参加者の満足度は高いことがわかる。

	大いに思う	ほぼ思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	未回答
静岡県②	15	25	4	2	2	2
三重県②	11	9	0	0	0	2
和歌山県②	33	29	1	0	0	2
山口県②	37	23	3	0	0	4



また2回目研修のアンケートの「今後の取り組み」について、9割を超す参加者が「具体的、もしくはなんとなく取り組みが見えてきた」と答えていることから、マニュアル作成に取組んだ参加者の中で、今後の取り組み内容が具体化してきたことが読み取れる。

今後希望する研修として、①被災地の様子等に関する防災講演会、②今回作成したマニュアルのバージョンアップ研修が求められている。今後、各県主催で研修を企画し、参加者とのつながりを継続していただくことが望ましい。

昨年度実施した同研修では、いずれの会場でも研修2回目の参加者が1回目から2割～3割減少していたが、今年度は多くても2割であった。特に三重県・和歌山県では1～2名の減少にとどまっていたことは特筆すべき事であり、昨年度の反省を踏まえ、1回目の研修終了時に「マニュアルを作成して参加することを最重要とするが、どうしても作成できなかった場合でも2回目の研修には参加するように」との声掛けを行う等の改善を行った結果と考える。

(2) 福祉防災認定コーチ資格研修

2019年度の認定コーチ研修を、12月3日（火）、17日（火）の2日間にかけて実施し、認定コーチ資格にチャレンジするメンバー・認定コーチの復習希望者など、のべ12名が参加した。



募集要項：「福祉防災認定コーチ」資格研修のご案内

福祉施設の職員に基礎的な防災事業継続などを指導するコーチとして認定を受けるための研修を実施します。

【受講基準】1、2のどちらかを満たす者。

1. 理事2名以上の推薦がある者。
2. 防災もしくは福祉で実務経験3年以上、および研修講師の経験を持つ者は、これまでの経歴および実施した研修の内容について600字程度のレポートを事前に提出し、審査する。

(提出期限：2020年11月25日)

【参加にあたっての宿題】「福祉施設の事業継続計画（BCP）作成ガイド」を購入し、必読のこと。

【研修内容】

前期研修) BCP研修の前期研修（BCPのひな形は紙のみ）

後期研修) 認定コーチとして必要なポイント、ワークショップの進め方など

【研修後の流れ】後期研修終了後、3,000字程度の課題レポートを提出いただきます。レポート提出は2020年3月末を予定。その後、審査にて認定の可否を決定します。

【開催日】前期研修) 2019年12月3日（火曜）、後期研修) 2019年12月17日（火曜）

【時間】受付) 9時～ 研修) 9時15分～

【主催】(一社) 福祉防災コミュニティ協会

【会場】ちよだプラットフォームスクウェア本館 会議室401 <http://www.yamori.jp/access/>

【定員】50人（先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます）

【受講料】当日支払い

前期研修) 会員は無料、その他は5,000円

後期研修) 21,600円（審査料含む）

【申込】以下をご記入の上、fukubou.moushikomi@★gmail.com（★をアットマークに変更してください）まで、メールでお申込みください。

件名「認定コーチ研修申込み」

―― 申込内容 ―――

1. お名前（よみがな）：
2. ご所属：
3. メールアドレス：
4. 当会BCP研修受講：有 or 無
5. 会員申込：有 or 無
6. 参加する研修：前期のみ or 前期・後期
7. 受講基準1の場合：推薦する当会理事2名以上の氏名。
8. 受講基準2の場合：600字程度のレポートを添付のこと。

――

お申込み後、受付完了メールを原則2営業日以内にお送りいたします。

1週間を過ぎても連絡がない場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

(3) 東京都立矢口特別支援学校の視察

石塚理事からのお声かけにより、東京都立矢口特別支援学校が実施している防災の取り組み（スタートボックス等）の視察・意見交換および福祉避難所開設訓練の視察を実施した。

【視察・意見交換】

開催日：2019年4月25日（木）13：00～

参加者：＜矢口特別支援学校＞松本校長、竹内副校長、他1名＜福防協＞鍵屋代表理事、高橋副理事長、岡橋理事、吉川理事、石塚理事、上園＜東急電鉄＞佐藤氏、笠原氏

議題1：矢口特別支援学校のスタートボックスおよび取り組み全体について

- ・ 総合案内受付班のボックスを活用し、情報収集および提供できるようにしている。
- ・ 外国籍の人も多いので、緊急に使えるパンダナ（4か国語対応のもの）も使っている。
- ・ 校内のネットワークは、トランシーバーを配って構築する。
- ・ スタートボックスは、班ごとのものが10種類ある。
- ・ 平成25年度くらいから訓練をしながら、バージョンアップしている。

議題2：東急電鉄におけるBC推進の取り組み及びスタートキットの活用について

- ・ 指揮者用のマニュアルは全部入りだが、各班のマニュアルは別にしてある。
- ・ 8人いれば、10分以内で災害対策本部の準備が出来上がるようになっている。
- ・ 誰もが担い手になれるよう、30分程度、参加者8人、10回コース年2回程度訓練を実施。

議題3：情報提供および意見交換

- ・ 文京区公式チャンネル「避難所開設キットを使った訓練。
- ・ 福祉避難所とすると3日後を考えているが、周辺地域からすると期待されているのではないか。



矢口支援学校 視察・意見交換（4月25日）

【福祉避難所開設訓練視察】

開催日：2019年7月24日（水）9：00～

参加者：鍵屋代表理事、吉川理事、石塚理事、上園<その他>サイボウズ松村氏、石神井特別支援学校山田氏

訓練内容1：児童・生徒の安全確保、帰宅支援ステーションの設営。校内では、災害時退勤体制に基づく役割分担に基づき、保護者引き取りを待つ児童・生徒（20名）を保護しつつ、帰宅支援ステーション設置等、各部署で災害時の二次、三次退勤教職員が対応する。

訓練内容2：福祉避難所開設準備訓練。発災後3日目の午前9時、大田区から福祉避難所開設にあたり、提供範囲の確認連絡があった。本校の状況を踏まえ、提供範囲を検討・決定する。今回の開設準備訓練では、17組34人のスペースを提供できる状況である。学校に待機している児童・生徒の保護者との引き渡しも行いながら、福祉避難所開設の準備に取り組む。

8 タイムスケジュール（7月24日 水曜日）	
～8：45	外部関係機関参加者来校（玄関→校長室→第1校舎3階ホール 対応 主幹 副校長）
9：00	教職員 3階ホールに集合、班ごとに整列（司会 生活指導部担当主幹：関口）
	<ul style="list-style-type: none"> （1） 校長挨拶 1分（松本校長） （2） 参加者紹介 2分（竹内副校長） （3） 訓練内容の流れ 2分（関口）
9：05	各班で集合、作業内容確認 5分
9：10	「本部長（校長）から班全体に行動開始の指示」（50分）
	<ul style="list-style-type: none"> *各班チーフは進捗状況を報告する（本部へ、トランシーバー4chで） （15分毎、不都合・応援等が必要な場合は随時） 【進捗状況の報告方法】「〇〇班、進捗 〇割」と報告する。 *開設準備が完了したら本部に報告する。 管理職が現場を確認する。担当主任が写真記録をとる。
10：00	福祉避難所開設準備を完了し、「福祉避難所」への避難を希望する要援護者及び付添者の受け付けを開始する。
	要援護者の避難所内への誘導と、食糧・飲料水の提供を行う。
10：20	全員、3階ホールに集合（校長の講評、見学者の感想、事務連絡）
10：25	終了、解散、撤収
	<ul style="list-style-type: none"> ◇訓練終了後、防災教育推進委員は校長室でアンケートに回答。 ◇他の教職員は、片付け。
9 教職員配置分担	
	<ul style="list-style-type: none"> ①災害対策本部 ②情報収集班 ③救護班 ④児童・生徒班 ⑤食糧・給水班 ⑥トイレ班 ⑦ライフライン班 ⑧帰宅支援ステーション班 ⑨総合案内・受付班 ⑩福祉避難所班



矢口支援学校 福祉避難所開設訓練視察（7月24日）

被災地への支援

(1) 台風15号に対して

9月14日（土）、鍵屋代表理事・石川理事・国崎理事・上園上級コーチが、台風15号で被災した千葉県内（君津市、南房総市、館山市、市原市など）での支援活動を行った。

また9月17日には、フェイスブックにて「地域支えあいセンターの早期設置」を求める文章を公開した。



千葉県内 支援活動（9月14日）

(2) 台風19号「令和元年東日本台風」に対して

10月15日から湯井上級コーチがレスキューストックヤードの活動に参加し、長野市内で高齢者の聞き取りを行った。聞き取りからわかった被災者の問題点は看護師や保健師につなぎ、福祉避難所の候補にあげてもらふなどの支援活動を実施した。また長野県災害時支援ネットワーク会議にも参加した。

10月16日から上園上級コーチが川崎市男女共同参画センターと活動し、川崎市内の避難所で被災された高齢者等の聞き取りを行った。また女性の視点を生かした避難所の改善なども実施した。



長野県災害時支援ネットワーク会議



川崎市内の避難所の改善

11月には鍵屋代表理事と湯井上級コーチが、長野市で在宅避難を行っている障がい者・高齢者に、生活物資を届けながら、聞き取りを行った。



長野市での在宅避難者への支援

(3) ビブス作成

被災地等での活動に向け、株式会社クオリティサポート様の支援により、ユニフォームとしてビブス20着を作成した。

協会のテーマカラーであるオレンジ色のビブスをベースに、前左下・後ろの反射材に「(一社)福祉防災コミュニティ協会」の名前を入れ、左胸には名刺が入られるポケット、右胸にはペン差し、大きめポケットを備え、被災地での支援活動がスムーズにできるようにした。また体形や季節を問わず使えるよう、左右はマジックテープになっており、丸洗いも可能である。



福祉防災認定コーチ、上級コーチ認定者

「福祉防災認定コーチ」資格研修を受講した5名が研修終了後のレポートを提出し、審査により認定コーチとして認定した。

	福祉防災認定コーチ		福祉防災上級コーチ			
	認定番号	氏名	認定番号	氏名		
2016 年度	認定コーチ160001	湯井 恵美子	上級コーチ160001	鍵屋 一		
	認定コーチ160002	今井 徹	上級コーチ160002	岡橋 生幸		
	認定コーチ160003	弘中 秀治	上級コーチ160003	横内 康行		
	認定コーチ160004	阿部 久美	上級コーチ160004	高橋 洋		
	認定コーチ160005	須藤 幸恵	/	/		
	認定コーチ160006	池田 健				
	認定コーチ160007	嶋田 宏昭				
	認定コーチ160008	石塚 由江				
	認定コーチ160009	杉 大治				
	認定コーチ160010	中井 佳絵				
	認定コーチ160011	前川 良栄				
	認定コーチ160012	奥村 奈津美				
	認定コーチ160013	村野 淳子				
	認定コーチ160014	高橋 智宏				
	認定コーチ160015	多田 真由美				
	認定コーチ160016	梅山 吾郎				
2017 年度	認定コーチ170017	藤川 祥子			/	/
	認定コーチ170018	齋藤 朝子				
2018 年度	/	/			上級コーチ180005	湯井 恵美子
	/	/			上級コーチ180006	上園 智美
2019 年度	認定コーチ190019	園崎 秀治	/	/		
	認定コーチ190020	田原 佳織				
	認定コーチ190021	サニー カミヤ				
	認定コーチ190022	岡野谷 純				
	認定コーチ190023	松原 龍				

展示会等への出展やマスコミ等による紹介

(1) NHKニュースウォッチ9に出演

2019年4月16日午後9時からのNHKニュースウォッチ9「熊本地震から3年・役場の職員が足りない」のコーナーに、鍵屋代表理事のインタビューが放送された。

「これは小手先の解決策はない。今までの自治体職員の単なるつながりに期待するのではなく、オールジャパンの制度として被災した自治体に、職員が多数送り込まれる仕組みをつくるべき。次の国難災害は乗り切れないと、非常に心配している。もう待たなし。」



(2) 「TEAM防災ジャパン オフラインミーティング」に参加

2019年8月3日に東京六本木で、内閣府TEAM防災ジャパンによる「TEAM防災ジャパンオフラインミーティング in 東京」が開催され、当協会メンバーも参加した。



(3) ぼうさいこくたい2019への出展

2019年10月19日～20日、名古屋市ささしまライブエリアにて行われた「ぼうさいこくたい2019」に『みんな元気になる福祉避難所』を出展した。

名古屋コンベンションホール3Fのブースには、災害時のファーストボックスを見本とした「福祉避難所スタートボックス」や、排泄物を自動ラップして処理する「ラップポントイレ」の展示などを実施した。多くの防災関係者・家族連れ、内閣府TEAMぼうさいジャパンメンバーによるツアー見学者などの見学もあり、多数の方におこしいたることができた。

クロージングセッションでは、「成果及び来年へ向けての目標・コミットメント発表」を行うことができ、参加者へ活動をアピールすることができた。



(5) TBSラジオ『荻上チキ・Session-22』に出演

2020年3月25日のTBSラジオ『荻上チキ・Session-22』は、「台風15号の千葉県直撃から半年～<福祉避難所>の実態を取材報告」というテーマで放送され、被災直後に現地視察を行った鍵屋代表理事と、半年後の福祉避難所の実態を取材した奥村認定コーチがゲスト出演した。

「福祉避難所」とは何か、避難所の在り方、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、避難所の感染症対策はどうすればいいのかが話題となった。



奥村認定コーチが南房総市を中心に取材



スタジオの様子

フェイスブックによる情報発信（災害関係のみ）

大災害が発生した際、被災者へ向け、協会からのお見舞いの言葉と共に、情報発信を実施している。2019年度は以下 5 件の発信を実施した。

（1）2019年6月18日（2019年6月18日の山形県沖地震に対して）

新潟県下越地方を震源とする地震で被災されたみなさまに、心からお見舞いを申し上げます。ご心配ですが、夜の移動は極めて危険です。ご家族、お仲間と連絡を取り合い、正確な情報に基づいて行動されますようお願いいたします。

しばらくは余震の心配もありますので、より一層のご安全を心がけてくださいませ。

（一社）福祉防災コミュニティ協会 代表理事 鍵屋 一

リーチした人数	300	エンゲージメント数	50
---------	-----	-----------	----

（2）2019年8月29日（2019年8月27日～8月29日の九州北部の記録的な大雨に対して）

九州地方を中心とする大雨で被災、避難されたみなさま、心からお見舞いを申し上げます。今年に入ってもう何度目かという方もいらっしゃるでしょう。

市町村をはじめ防災関係機関のみなさまもお疲れのことと存じます。少しでもお休みをとられていただけますようお願いいたします。

なお、これからの被災生活再建に必要なことがらを示したチラシ「水害にあったときに」を添付します。また、より詳細な冊子版が「震災がつなぐ全国ネットワーク」ホームページからダウンロードできます。

<http://blog.canpan.info/shintsuna/archive/1420>

必ず生活再建はできますので、どうか困難時期を心を寄せ合って、乗り越えられますようにお祈り申し上げます。

（一社）福祉防災コミュニティ協会 代表理事 鍵屋 一

リーチした人数	250	エンゲージメント数	82
---------	-----	-----------	----

これからの被災生活再建に必要なことがらを示したチラシ「水害にあったときに」です。

より詳細な冊子版が「震災がつなぐ全国ネットワーク」ホームページからダウンロードできます。

<http://blog.canpan.info/shintsuna/archive/1420>



リーチした人数	803	エンゲージメント数	172
---------	-----	-----------	-----

（3）2019年9月17日（2019年9月5日～9月10日の台風15号に対して）

台風15号災害「地域支えあいセンター」の早期設置を

（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事、跡見学園女子大学教授 鍵屋 一

2019年9月9日未明に千葉県に上陸した台風15号は、千葉市で最大瞬間風速57.5 m/sを記録し、その後の停電、断水等により市民生活に大きな支障をきたしています。被災されたみなさまには、深くお見舞いを申し上げます。また、電気復旧工事はじめ様々な復旧に従事されるみなさま、自治体職員はじめとする支援者のみなさまには心からのエールを送ります。

災害現場に評論家はいらぬ、とよく言われます。目の前の課題をいかに解決するかに全力を注ぐのが大事であり、対応の良し悪しを評価したり、できそうにない提案をされても困るということでしょう。しかし、人命に関わることはそうはいきません。どうしても提案したいことが一つあります。

それは「地域支えあいセンター」の早期設置です。

【被災者見守り、相談支援事業】

避難生活で特に厳しいのは高齢者をはじめとするよう配慮者です。被災者見守り、相談支援事業は、①被災自治体を実施する応急仮設住宅等に入居する被災者に対する見守り・相談支援事業について、その取り組みを支援する、②とくに高齢者をはじめとする在宅被災者に対して、個別訪問等による早期の現状把握を行う等によって支援の届かない被災者をつくらぬ取り組みを集中的に実施するものです。

具体的には、県および市町村の社協に「地域支えあいセンター」等の拠点を設置し、「生活支援相談員」を配置し、被災者の見守りや生活上の相談に応じます。

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害時にも被災各地で地域支えあいセンターが設置され、現在も活動を継続しています。

【災害関連死を防ぐためには】

しかし、災害関連死を防止するためには、仮設住宅設置のタイミングでは遅い。熊本地震での関連死の割合は1か月以内に6割、3か月以内で85%にも上ります。しかも、4割は自宅で亡くなりました。これに、災害後の入院を含めると64%になります。すなわち、災害後の応急対策として、災害関連死を防ぐためには、在宅の高齢者等への安否確認、見守り相談支援が最重要です。

地域支えあいセンター事業は、現在の災害救助法のメニューにはないが、早期に実施できるように、メニュー化すべきです。

【地域支えあいセンターの早期設置と社会福祉協議会】

そこで、台風15号災害の関連死を防ぐために、早急に社会福祉協議会、地域包括支援センターを中心に、民生委員、自治会・町内会、福祉関係NPOらとともに「地域支えあいセンター」を設置することを提案します。「避難行動要支援者名簿」を活用して在宅の避難行動要支援者の安否確認、見守り相談支援を実施しましょう。

この観点から見ると、市町村の社会福祉協議会は、ボランティアセンターの設置運営との兼ね合いが課題となります。これまで、災害が発生すると地元の社会福祉協議会はボランティアセンターの運営だけで手一杯になり、他の日常業務が滞ります。そこに、地域支えあいセンターの運営まで任せると間違いなく業務過多です。今後は、ボランティアセンター運営業務の多くは、ボランティア団体に任せて、社会福祉協議会は本来業務である地域福祉に注力できるようになるのが望ましいと考えています。

リーチした人数	302	エンゲージメント数	134
---------	-----	-----------	-----

（４）2019年10月13日（2019年10月6日～10月13日の台風19号に対して）

台風19号で被災、避難されたみなさま、心からお見舞いを申し上げます。

多くの河川が氾濫し、たくさんの住宅、お店、建物が浸水しました。被災されたみなさま、市区町村をはじめ防災関係機関のみなさまもお疲れのことと存じます。お辛いでしょうが、復旧は長期戦になります。どうか、少しずつ休みを取られながら、心身を労られるようお願いいたします。

「水害にあった時に」のチラシを添付いたしました。今後の取り組みの参考にして頂ければ幸いです。

また、より多くの情報を載せた冊子版は、震災がつなぐ全国ネットワークのホームページにございますので、ダウンロードしてお使いください。

<http://blog.canpan.info/shintsuna/archive/1420>

必ず生活再建はできます。どうか困難な時期を身近な方々と心を寄せ合って、乗り越えられますように心からお祈り申し上げます。

（一社）福祉防災コミュニティ協会代表理事 鍵屋 一

リーチした人数	2,240	エンゲージメント数	369
---------	-------	-----------	-----

（５）2019年11月3日（2019年10月6日～10月13日の台風19号に対して）

鍵屋代表理事と湯井上級コーチが、長野市にお伺いしました。

以下、湯井上級コーチからのレポートです。

避難所では、外部支援団体と長野市の職員さんとで避難所生活環境整備の体制が具体的に話し合われています。

避難所に物資をもらいに来られた在宅で避難者している方のお話を伺うと、避難所の環境整備と同時に、避難所に行かず在宅で頑張っておられる人たちの生活環境へのお手伝いが必要だと強く感じます。

豊野地区ではコンビニも被災し、ちょっとお買い物に、というわけにいきません。

地域の元気なお母さんが、みんなの分まで何往復もしながらお弁当やお洋服などを運んでおられます。

車のない方は、このような地域の方の善意に頼るしかありません。

今週は、在宅で大変な思いをされている障がい者、高齢者に、物資をお配りしながらお話を伺わせて頂いています。

リーチした人数	242	エンゲージメント数	69
---------	-----	-----------	----

※ リーチした人数：この投稿を目にしたと思われる人数

※ エンゲージメント数：この投稿に「いいね」などの反応を示した人数

その他の活動

(1) 品川女子学院からの取材

9月4日、品川女子学院の学生さんから取材協力のメールがあり、メールにて質問回答を行った。

一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会
御担当者様

初めまして、品川女子学院高等部2年C組の〇〇です。
突然のご連絡で失礼致します。

私たちのクラスでは文化祭で「災害に対する意識を高め、行動する」ことを目的として非常食に注目し、ローリングストックを広めるために活動しています。

そこで、一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会様にメールでのインタビューをお願いしたく、ご連絡させて頂きました。

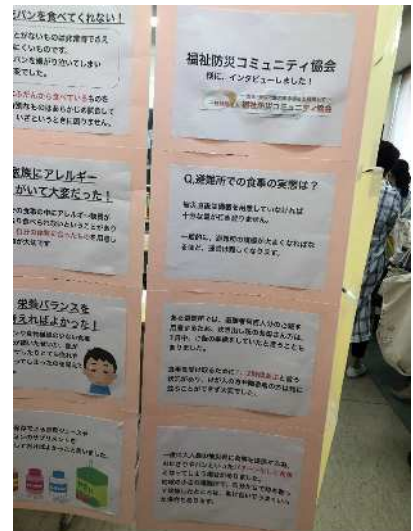
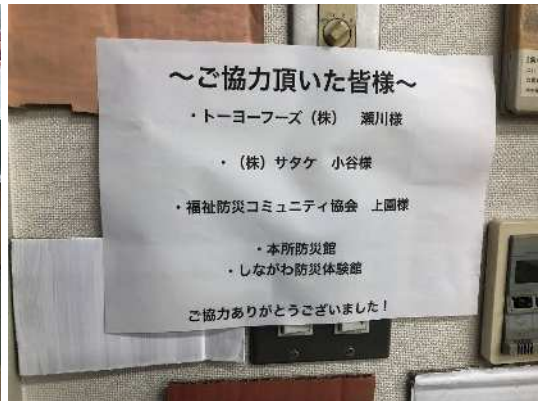
質問内容に関しましては、以下のものを考えております。
可能な範囲でお答えいただくと幸いです。

- ・ボランティアをしている中で被災した方が、無くて困ったものは何ですか。(食べ物、その他)
- ・避難所で起こった問題は何か。
- ・ボランティアを行った中で1番印象に残っていることは何ですか。
- ・避難所での食事の実態はどのようなものですか。
- ・非常食の中で重宝されていたものは何ですか。
- ・避難所での娯楽を与えるような取り組みはありますか。

お忙しいところ恐縮ですが、御協力頂けますとありがたいです。
どうぞ、よろしくお願い致します。

文化祭当日は、高橋副理事長と事務局上園が参加し、学生さん達とのコミュニケーションを行った。





(2) 「災害時のスペシャルニーズ支援ハンドブック」を監修

社会福祉法人大阪ボランティア協会では、災害時に特別な配慮の求め（スペシャルニーズ）が必要な人への対応の課題を明らかにし、ボランティアコーディネーションの「モデル」を構築することを目的として、研究会やハンドブック作成、研修などを実施している。その一環である「災害時のスペシャルニーズ支援ハンドブック」を鍵屋代表理事が監修。2016～2018年度の事業成果として「災害時、特別な配慮を必要とする人にはどんな困りごとが発生するのか、支援者は普段からどんな備えをしておけばいいのか、どうすれば外部支援者の力をうまく借りることができるのかなど」がまとまっている。2019年5月から社会福祉法人大阪ボランティア協会のHPで公開されている。



【障害者・難病者編】



【子ども編】



【外国人編】

2019年度の成果（実績）とインパクト

2019年度に実施した研修は、以下の通り。

【協会主催のもの】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 8月2日	富士市 福祉防災計画 BCP策定研修会 1回目	32	富士市役所消防防災 庁舎 7階大会議室	鍵屋代表理事 高橋副理事長
2019年 9月5日	富士市 福祉防災計画 BCP策定研修会 2回目	32	富士市役所消防防災 庁舎 7階大会議室	高橋副理事長 上園上級コーチ
2019年 12月3日	福祉防災コーチ研修前期	7	千代田プラットフォームス クエア	高橋副理事長
2019年 12月17日	福祉防災コーチ研修後期	8	千代田プラットフォームス クエア	高橋副理事長
参加者数合計		79		

【自治体等からの研修】

開催日	内容/場所/回数	参加者数	会場	講師
2019年 7月1日	福祉避難所開設マニュアル 作成研修 石川県金沢市：1回目	66	石川県地場産業振興セ ンター本館第2研修室	鍵屋代表理事 中井認定コーチ
2019年 7月3日	事業継続計画（BCP）研 修 神奈川県横浜市神奈 川区：1回目	15	横浜市神奈川区社協	鍵屋代表理事
2019年 7月19日	事業継続計画（BCP）研 修 三重県伊賀市：1回目	60	伊賀市阿山保健福祉セ ンター	鍵屋代表理事 湯井上級コーチ
2019年 8月5日	事業継続計画（BCP）研 修 神奈川県横浜市神奈 川区：2回目	15	横浜市神奈川区社協	鍵屋代表理事
2019年 8月23日	事業継続計画（BCP）研 修 三重県伊賀市：2回目	60	伊賀市阿山保健福祉セ ンター	鍵屋代表理事 湯井上級コーチ
2019年 9月21日	福祉避難所運営ゲーム（H UG）体験会 三重県伊賀市：3回目	18	伊賀市青山福祉センタ ー	湯井上級コーチ

開催日	内容/場所/回数	参加者数	会場	講師
2019年 9月25日	福祉避難所開設マニュアル 作成研修 石川県金沢 市：2回目	55	石川県地場産業振興セ ンター新館第1 2研修 室	横内副理事長 湯井上級コーチ
2020年1 月24日	福祉避難所の設置・運営に 関する実務研修会 静岡県富士市：1回目	24	富士市役所消防防災 庁舎3階作戦指令室 兼会議室	鍵屋代表理事
2020年2 月26日	福祉避難所の設置・運営に 関する実務研修会 静岡県富士市：2回目	18	富士市役所消防防災 庁舎3階作戦指令室 兼会議室修室	鍵屋代表理事
参加者数合計		331		



石川県金沢市 福祉避難所開設マニュアル作成研修の様子



三重県伊賀市 福祉避難所運営ゲーム（HUG）体験会の様子

【消防防災科学センター受託】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 7月9日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 1回目	61	静岡県庁別館5階 危機管理センター	横内副理事長 上園上級コーチ
2019年 8月7日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 2回目	51	静岡県庁別館5階 危機管理センター	高橋副理事長 湯井上級コーチ
2019年 8月7日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 1回目	70	和歌山県立情報交流センター BigU研修室 2	石塚理事 上園上級コーチ
2019年 8月30日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 1回目	23	三重県総合文化センター 会議室	湯井上級コーチ 上園上級コーチ
2019年 9月9日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 2回目	68	和歌山県庁南別館 防災対策室201	横内副理事長 湯井上級コーチ
2019年 10月8日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 2回目	22	三重県総合文化センター 会議室	湯井上級コーチ 上園上級コーチ
2019年 12月20日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 1回目	85	山口県庁 3階職員ホール	鍵屋代表理事 中井認定コーチ
2020年 2月4日	福祉避難所の設置・運営に関する実務研修 2回目	70	山口県庁 1階視聴覚室	上園上級コーチ 中井認定コーチ
参加者数合計		450		

【その他組織が主催で講師が個別で実施したもの】

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 4月3日	福祉防災計画啓発研修	10	茨木市茨木療護園	湯井上級コーチ
2019年 4月9日	基幹大阪退職者の会第12回総 会講演会	100	京阪天満橋キャス ルホテル	湯井上級コーチ
2019年 4月20日	府立富田林支援学校PTA防災 研修会	40	府立富田林支援学 校	湯井上級コーチ
2019年 4月21日	マンション役員事前研修	40	西道頓堀コープマン ション	湯井上級コーチ
2019年 4月21日	福祉防災計画啓発研修	10	聖綾福祉会（平野 喜連）	湯井上級コーチ
2019年 4月23日	「学校防災管理と避難行動～児 童と教員の安全と心のケア～」	20	広島県熊野町立熊 野第二小学校	中井認定コーチ
2019年 4月24日	福祉防災計画啓発研修	30	茨木市あいあい塾	湯井上級コーチ
2019年 4月24日	泉州労連連続講座1回目	25	泉大津市職員会館	湯井上級コーチ
2019年 5月16日	埼玉県県央地域災害保健医療 連絡会 「福祉避難所の開設・運営と地 域との連携について」	100	鴻巣保健所	鍵屋代表理事
2019年 5月16日	蒲郡市福祉避難所研修 「災害対応の基本と福祉避難所 などの課題について」	50	蒲郡市民会館大会 議室	高橋副理事長
2019年 5月17日	東京都社会福祉協議会 災害福祉研修BCP（前期）	70	飯田橋レインボーホ ール	鍵屋代表理事
2019年 5月17日	社会福祉法人成光苑 施設連絡会研修会	90	京都タワーホテル	湯井上級コーチ
2019年 5月19日	マンションでの福祉防災（非常 食作り）	100	西道頓堀コープマン ション	湯井上級コーチ
2019年 5月20日	福祉防災計画前期研修	10	聖綾福祉会（平野 喜連）	湯井上級コーチ
2019年 5月25日	大阪労福協・労働者自主福祉 講座	100	全労済会館ヴィーコ スZERO	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 5月26日	四万十町自主防災組織連絡協議会 「災害時の高齢者、障がい者等の支援～一緒に助かるために～」	150	窪川四万十会館	鍵屋代表理事
2019年 5月26日	ゆめ風シンポジウム 「大規模災害をリアルに考える～要援護者の視点から～」	160	大阪市中央区民センター大ホール	湯井上級コーチ
2019年 5月28日	東京都社会福祉協議会グループホーム研修	60	東京都手をつなぐ育成会会議室	鍵屋代表理事
2019年 5月28日	井口中学校『心の参観日』 「防災・減災で中学生ができること～自分で自分の命を守る避難行動～」	400	広島市立井口中学校	中井認定コーチ
2019年 6月12日	学校と地域が連携・協働した防災の取組みについて考えるワールドカフェ	30	大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館（クレオ大阪子育て館）	湯井上級コーチ
2019年 6月13日	障がい者・高齢者の防災減災について考えるワールドカフェ	50	コープこうべ（大阪北地区活動本部）	湯井上級コーチ
2019年 6月14日	特別支援学校の福祉防災計画	50	大阪ボランティア協会 よるがく&カフェ	湯井上級コーチ
2019年 6月16日	輪島市地域密着型介護サービス事業者連絡協議会 「災害対策の基本」 「福祉防災の基礎」	40	輪島市文化会館小ホール	高橋副理事長
2019年 6月18日	河内地域労福協総会20周年記念講演 「高齢者・障がい者の防災減災から考える」	100	ホテルアウイーナ大阪	湯井上級コーチ
2019年 6月18日	広島県教育委員会 令和元年度地域学校協働活動支援員・サポーター等研修会 「子供たちを災害から守る～普段から自分で自分の命を守る子供を育む～」（西部地区）	80	はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ	中井認定コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 6月19日	広島県教育委員会 令和元年度地域学校協働活動支援員・サポーター等研修会 「子供たちを災害から守る～普段から自分で自分の命を守る子供を育む～」(東部地区)	60	尾道総合福祉センター	中井認定コーチ
2019年 6月21日	広島県教育委員会 令和元年度地域学校協働活動支援員・サポーター等研修会 「子供たちを災害から守る～普段から自分で自分の命を守る子供を育む～」(北部地区)	30	広島県三次庁舎第三庁舎	中井認定コーチ
2019年 6月22日	UAゼンセン 2019年度いきいきシニアの集い	100	UAゼンセン大阪府支部	湯井上級コーチ
2019年 6月23日	高齢者・障がい者の防災減災から考えるリーダーたちのクロスロード	10	聖綾福祉会(平野喜連)	湯井上級コーチ
2019年 6月27日 ・6月28日	災害対応(人とペットの災害対策概論) 「災害対応の基本と、練馬区での災害時のペット対策」	100	環境調査研修所	高橋副理事長
2019年 6月29日	P T A 防災研修会 「自ら考えて備える力～災害に立ち向かうために～」	50	富士見市立富士見特別支援学校	石塚理事
2019年 7月1日	令和元年度北但給食施設協議会研修会	70	日高地区コミュニティセンター(豊岡市)	湯井上級コーチ
2019年 7月3日	横浜市神奈川区社協 BCP作成講座 1回目	30	横浜市神奈川区社協	鍵屋代表理事
2019年 7月13日 ～7月15日	復興まちづくりキャンプ実行委員	100	都立小金井公園	高橋副理事長
2019年 7月13日	福祉防災計画前期研修	25	高知市すずめ共同作業所	湯井上級コーチ
2019年 7月18日	神奈川民生委員中央ブロック研修会 「災害時における民生児童委員の活動」	300	厚木市文化会館	鍵屋代表理事

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 7月19日	伊賀市社会福祉協議会 BCP 研修 1 回目	60	伊賀市阿山保健福 祉センター	鍵屋代表理事 湯井上級コーチ
2019年 7月19日	防災・危機管理カンファレンス (パネラー)	150	時事通信ホール	高橋副理事長
2019年 7月22日	「災害にどう備える～日頃からの つながりが地域を守る～」	150	ココネリホール	高橋副理事長
2019年 7月23日	教職員防災研修会 「防災倉庫内の転倒落下防止 策について」	30	都立青山特別支援 学校	石塚理事
2019年 7月23日	泉州労連連続講座 2 回目	25	泉大津市職員会館	湯井上級コーチ
2019年 7月24日	北区障害者地域自立生活支援 室 「大災害が起きても、みんなが助 かるためには」	80	北とびあ	高橋副理事長
2019年 7月26日	教職員防災研修会 「福祉避難所の開設等について」	80	都立久我山青光学 園	石塚理事
2019年 7月29日	福祉防災計画前期研修	20	尼崎市きらくえん	湯井上級コーチ
2019年 8月5日	横浜市神奈川区社協 BCP作成講座 2回目	20	横浜市神奈川区社 協	鍵屋代表理事
2019年 8月5日	福祉防災計画前期研修	20	茨木市茨木療護園	湯井上級コーチ
2019年 8月6日	南房総市福祉施設BCP研修 (前期)	60	南房総市役所	鍵屋代表理事
2019年 8月8日	東京都福祉保健財団保育研修	200	東京都福祉保健財 団研修室	鍵屋代表理事
2019年 8月9日	吹田市福祉施設連絡会 福祉施設BCP研修 (前期)	50	社会福祉法人みな と寮	鍵屋代表理事
2019年 8月22日	教職員防災研修会 「福祉避難所 & 特別支援学校 のBCP」	70	富士見市立富士見 特別支援学校	石塚理事
2019年 8月23日	伊賀市社会福祉協議会 BCP研修 2回目	60	伊賀市阿山保健 福祉センター	鍵屋代表理事 湯井上級コーチ
2019年 8月26日	避難行動・生活のBCP対応キッ ト作成研修	20	高知市すずめ共同 作業所	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 8月28日	水元小合学園職員防災研修	120	水元小合学園	鍵屋代表理事
2019年 8月29日	教職員・保護者防災研修会 「命を守るために今できること」	100	都立城東特別支援 学校	石塚理事
2019年 9月5日	福祉施設の事業継続計画との 協働	50	伊丹市手をつなぐ育 成会	湯井上級コーチ
2019年 9月7日	自治会での福祉防災啓発研修	30	泉大津市東助松長 寿園	湯井上級コーチ
2019年 9月8日	首都防災ウィーク 防災フォーラム 「すべてで支え、支え合う高齢社 会の防災」	100	東京都横網町公 園、東京都慰霊堂	中林顧問 鍵屋代表理事 岡野谷監事
2019年 9月11日	マンションでの福祉防災（非常 食作り）	20	茨木市マンション	湯井上級コーチ
2019年 9月11日	大阪商工信用金庫新店セミ ナー	70	大阪商工信用金庫 新店	湯井上級コーチ
2019年 9月13日	吹田市福祉施設連絡会 福祉施設BCP研修（後期）	50	社会福祉法人みな と寮	鍵屋代表理事
2019年 9月15日	高齢者住宅 東京防災学習セミ ナー 「各家庭での災害備蓄の準備」	30	日野市	高橋副理事長
2019年 9月18日	世田谷介護ネット 「大災害が起きても、介護サービ スを止めないためには」	40	世田谷区福祉人材 研修センター	高橋副理事長
2019年 9月18日	福祉防災計画後期研修	20	尼崎市きらくえん	湯井上級コーチ
2019年 9月21日	伊賀市社会福祉協議会 福祉 HUG研修	18	伊賀市青山福祉セ ンター	湯井上級コーチ
2019年 9月27日	内閣府防災スペシャリスト研修福 祉避難所	60	そなエリア東京	鍵屋代表理事
2019年 9月28日	宝塚市障害者（児）団体連絡 協議会防災研修会	70	宝塚市勤労市民セ ンター	湯井上級コーチ
2019年 10月3日	久喜市福祉避難所訓練	70	障がい者支援施設 久喜けいわ	鍵屋代表理事
2019年 10月4日	宿泊防災訓練における生徒への 防災講和	30	都立久我山青光学 園	石塚理事
2019年 10月7日	連合大阪女性委員会防災研修 会	30	連合大阪	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 10月8日	埼玉県乳児院研修 「乳児院の防災・事業継続を考える」	60	岩槻乳児院	鍵屋代表理事
2019年 10月8日	富山県市町村担当職員研修 避難行動要支援者支援講習会 「避難行動要支援者名簿、個別計画の策定の促進について」	100	富山県民会館	高橋副理事長
2019年 10月9日	あかね空役員会防災研修会	10	あかね空活動本部	湯井上級コーチ
2019年 10月19日	大和冷機労働組合 西日本支部「防災FMP広島」（非常食づくり）	30	広島県健康福祉センター	湯井上級コーチ
2019年 10月20日	避難訓練アドバイザー	40	尼崎市きらくえん	湯井上級コーチ
2019年 10月21日	田無市手をつなぐ親の会 「大災害時に、障がい者、家族を守るために」	67	西東京市南町スポーツ文化交流センター「きらっと」	鍵屋代表理事
2019年 10月21日	福祉防災計画を考えるワールドカフェ（啓発）	30	府立箕面支援学校PTA	湯井上級コーチ
2019年 10月24日	泉州労連連続講座3回目	25	泉大津市職員会館	湯井上級コーチ
2019年 10月26日	自治会東京防災学習セミナー 「防災マニュアルの考え方」	30	八王子市	高橋副理事長
2019年 10月27日	「在宅療養児の地域生活を支えるネットワーク」運営委員会	100	神奈川県立こども医療センター	湯井上級コーチ
2019年 10月29日	ふじざくら支援学校PTA研修会 「大災害時に障がい児を守るために」	120	ふじざくら支援学校	鍵屋代表理事
2019年 10月29日	福祉防災計画作成後期研修	20	高知市すずめ共同作業所	湯井上級コーチ
2019年 10月30日	福祉防災計画作成後期研修	80	高知市老健施設連絡会	湯井上級コーチ
2019年 10月31日	高槻支援学校防災マスターチームアンケート結果説明会	20	府立高槻支援学校	湯井上級コーチ
2019年 11月6日	福祉防災計画啓発研修	30	明光ワークス保護者会	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 11月6日	日本防災士会地方議員連絡会 令和元年度第1回研修会	40	なんばパークスタワー	湯井上級コーチ
2019年 11月12日	災害ボランティアコーディネーター 入門講座 「～日頃からのつながりが地域を 守る～①」	30	練馬区社会福祉協 議会	高橋副理事長
2019年 11月12日	寝屋川市教育委員会教頭会防 災研修	40	寝屋川市総合教育 研修センター	湯井上級コーチ
2019年 11月14日	水害に備える支援学校PTAの役 割	30	府立吹田支援学校 PTA	湯井上級コーチ
2019年 11月14日	『弱者と災害』の現場～レジリエ ンスの支援から見る教訓～	20	京都大学東一条館	湯井上級コーチ
2019年 11月17日	令和元年度 安芸区防災訓練・ 防災フェア 「どの災害でも同じ避難行動で大 丈夫?! ～地震と風水害の違いを 考えよう～」	200	広島市立みどり坂小 学校	中井認定コーチ
2019年 11月18日	大阪府社会福祉協議会集団指 導者研修 「社会福祉施設として必要な危 機管理とは何か」	30	大阪府社会福祉会 館	鍵屋代表理事
2019年 11月19日	神奈川県保育研修 「災害時の準備心構え」	80	神奈川県産業振興 センター	鍵屋代表理事
2019年 11月20日	福祉防災計画啓発研修	30	兵庫県立こやのさと 支援学校PTA	湯井上級コーチ
2019年 11月20日	福祉防災計画啓発研修	30	寝屋川市立あかつ き・ひばり園	湯井上級コーチ
2019年 11月21日	全国老人福祉施設協会 「高齢者福祉施設に求められる 『福祉防災計画』」	200	水戸プラザホテル	鍵屋代表理事
2019年 11月22日	福祉防災計画作成前期研修	40	三重県明和町社会 福祉協議会	湯井上級コーチ
2019年 11月23日	あいちボランティアネイバース 「福祉施設のBCP」	20	知多市市民活動セ ンター2階会議室	鍵屋代表理事

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 11月23日	当事者がエンジンとなる福祉防災	40	住みよいまちづくりと豊かな暮らしをすすめる吹田住民団体（運動）交流懇談会	湯井上級コーチ
2019年 11月26日	災害ボランティアコーディネーター入門講座 「～日頃からのつながりが地域を守る～②」	30	練馬区社会福祉協議会	高橋副理事長
2019年 11月26日	大阪市退職者連合総会	100	大阪府立勤労センターエルおおさか	湯井上級コーチ
2019年 11月28日	「自助と『近助』の助け合いについて」	30	日野市	高橋副理事長
2019年 11月29日	支援学校の防災計画を考える（コメンテーター）	80	近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究協議会（加古川市特別支援学校）	湯井上級コーチ
2019年 12月2日	東京都福祉保健財団保育研修	200	東京都福祉保健財団研修室	鍵屋代表理事
2019年 12月2日	現代社会学部社会貢献科「社会貢献実習Ⅲ」 障がい者支援講義 福祉避難所運営シミュレーションゲーム	20	神戸学院大学	湯井上級コーチ
2019年 12月5日	南房総市福祉施設BCP研修（後期）	60	南房総市役所	鍵屋代表理事
2019年 12月6日	寝屋川市教育委員会一般教職員防災研修	40	寝屋川市総合教育研修センター	湯井上級コーチ
2019年 12月7日	社会福祉法人雲柱社 「福祉施設の防災・BCP」	120	国分寺教会	鍵屋代表理事
2019年 12月10日	災害ボランティアコーディネーター入門講座 「～日頃からのつながりが地域を守る～③」	30	練馬区社会福祉協議会	高橋副理事長
2019年 12月10日	大阪市退職者協議会令和元年度学習会	100	PLP会館	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2019年 12月12日	グループホーム防災研修会 「GHにおける防災について1」	20	城南地域生活支援センター	石塚理事
2019年 12月12日	特別支援学校の福祉防災計画 啓発研修	40	静岡県立東部特別支援学校	湯井上級コーチ
2019年 12月14日	目黒区社会福祉協議会めぐろボランティア・地域活動センター 「平常時の地域のつながりと災害時の要配慮者支援」	50	中目黒スクエア	高橋副理事長
2019年 12月14日	「中西防災の日 4年生親子で学ぼう災害への備えについて」	50	練馬区立中村西小学校	高橋副理事長
2019年 12月14日	豊中市少路地区防災研修会要 援護者対策	60	豊中市少路地区防災会	湯井上級コーチ
2019年 12月14日	福祉避難所運営シミュレーション ゲーム	40	大阪ボランティア協会	湯井上級コーチ
2019年 12月15日	障害のある方を支援する防災研修会 防災ワークショップ（地域における災害対策） 「～防災の基本確認と災害図上訓練～」	50	戸山サンライズ	高橋副理事長
2019年 12月18日	令和元年度熊野町内防災教育の充実に向けての取組 「これからの防災教育について」	20	広島県熊野町役場	中井認定コーチ
2019年 12月21日	くらしき発達障がい支援フォーラム 基調講演	40	倉敷市発達障がい支援センター	湯井上級コーチ
2019年 12月26日	グループホーム防災研修会 「GHにおける防災について2」	10	東京都手をつなぐ育成会	石塚理事
2019年 12月26日	グループホーム防災研修会 「GHにおける防災について3」	20	城南地域生活支援センター	石塚理事
2020年 1月16日	栃木県避難行動要支援者研修	70	栃木県庁	鍵屋代表理事
2020年 1月14日	福祉避難所運営シミュレーション ゲーム	70	兵庫区社会福祉協議会ほっとかへんネット	湯井上級コーチ
2020年 1月17日	福祉避難所開設運営訓練後研修会	40	兵庫県立和田山特別支援学校	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020年 1月18日	安佐南区防災講演 「自然災害メカニズムを知って適切な避難方法を考えよう～近助・共助は自分の命を守ってはじめて出来る～」	80	広島市安佐南区役所	中井認定コーチ
2020年 1月20日	「福祉避難所運営の実際と取組」過去の大災害と教訓から見た福祉避難所設置・運営の実際と課題、課題解決に向けた取組、訓練など	100	横浜市旭区役所	高橋副理事長
2020年 1月22日	PTA防災研修会（茶話会）	30	倉敷市立倉敷支援学校PTA	湯井上級コーチ
2020年 1月22日	府中南小学校PTA・府中南公民館共催家庭教育講演会 「“自分で自分の身を守る”子供を育てるために～子供を核とした防災・減災教育～」	100	広島県府中南小学校公民館	中井認定コーチ
2020年 1月24日	「～命を守る～要配慮者支援のために出来ること」	50	西東京市保谷庁舎	高橋副理事長
2020年 1月25日	福祉避難所運営シミュレーションゲーム	30	奈良県あかるいみらい準備室	湯井上級コーチ
2020年 1月28日	福祉防災計画啓発研修	40	刈谷市三河部施設長会特別養護老人ホーム施設長会	湯井上級コーチ
2020年 1月29日	浜松市講演 「福祉施設の防災・BCP・福祉避難所」	182	浜松市浜北文化センター	高橋副理事長
2020年 1月29日	特別支援学校福祉防災計画啓発研修	70	岐阜県立中濃特別支援学校	湯井上級コーチ
2020年 1月30日	地域福祉コーディネーター研修（福祉防災と非常食）	30	大阪市生野区社会福祉協議会	湯井上級コーチ
2020年 2月1日	明石市江井島避難所開設訓練検証研修会	20	明石市江井島地区コミュニティセンター	湯井上級コーチ
2020年 2月2日	泉州労連連続講座4回目	60	泉大津市テクスピア 大阪	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020年 2月3日	茨木市 女性スキルアップセミナー 被災経験から学び合う 女性のための防災講座	39	茨木市立男女共生 センターローズWAM	上園上級コーチ
2020年 2月4日	帰宅困難者支援施設運営ゲーム (KUG1)	35	なんばまち育てネット ワーク	湯井上級コーチ
2020年 2月7日	内閣府防災スペシャリスト研修 福祉避難所	60	そなエリア東京	鍵屋代表理事
2020年 2月7日	PTA/教職員 特別支援学校の 福祉防災計画啓発研修	70	奈良県立明日香養 護学校	湯井上級コーチ
2020年 2月8日	四日市市防災ボランティア研修 「福祉防災のポイント」	20	四日市市消防署	鍵屋代表理事
2020年 2月12日	特別支援学校の福祉防災計画 啓発研修	70	山口県立岩国総合 特別支援学校	湯井上級コーチ
2020年 2月13日	福祉防災計画を考えるワールドカ フェ	40	宮城県石巻市(みや ぎセルフ)	湯井上級コーチ
2020年 2月14日	日野市社会福祉協議会 「福祉施設のBCP」	80	多摩平の森ふれあい 館	鍵屋代表理事
2020年 2月14日	福祉防災計画を考えるワールドカ フェ	30	宮城県石巻市(みや ぎセルフ)	湯井上級コーチ
2020年 2月15日	国際福祉医療経営者支援協会 (福祉防災)	30	全国町村会館	湯井上級コーチ
2020年 2月16日	「命を守る『籠城作戦』と『垂直避 難』のポイント」	30	東大和市	高橋副理事長
2020年 2月16日	福祉防災計画と非常食	50	アンジェルマンの会 (アミティ舞洲)	湯井上級コーチ
2020年 2月16日	第1回茨城補成会まちづくりセミ ナー～逃げっぺ・守っぺ・備えっぺ ～みんなで考える茨城町防災会 議	50	茨城町総合福祉セ ンターゆうゆう館	上園上級コーチ
2020年 2月17日	三重県社会福祉協議会 福祉 避難所関係セミナー	84	三重県社会福祉会 館3階講堂	湯井上級コーチ
2020年 2月18日	防災カフェ（障がい者の福祉防 災と非常食）	20	豊中市放課後等デ イサービスアンジュ	湯井上級コーチ
2020年 2月19日	近畿地区身体障害者施設協議 会 防災研修	40	ホテルアウィーナ大阪	鍵屋代表理事
2020年 2月22日	福祉防災計画を考えるワールドカ フェ	30	奈良県あかるいみら い準備室	湯井上級コーチ

開催日	活動タイトル 等	参加者数	会場	講師など
2020年 2月25日	西伊豆町社会福祉協議会 「災害時要配慮者支援を考える」	30	西伊豆町役場	鍵屋代表理事
参加者数合計		9,375		

（１）一般財団法人 消防防災科学センターからの受託研修

当初5県での研修予定であったが、佐賀県が災害対応により中止となり、4県での研修を実施した。当該県での福祉避難所マニュアル策定が進んだことはもちろん、参加した市町村職員や当協会を知った関係者から、福祉防災計画（BCP）策定研修や福祉避難所マニュアルの研修に対する問合せが寄せられた。また、静岡県からは2020年度に3回、独自に実施したいとの要望が寄せられており、本研修が着実に認知度を高めている。

（２）被災地での活動

今年度は、台風15号後に被災自治体を訪問し、職員や障がい者、高齢者に聞き取りを行った。千葉県では停電が長期化することによる熱中症の発生への対応や、災害直後に独自に福祉避難所を開設する動きがみられた。また、長野県では障がい者、高齢者を福祉避難所に直接避難させるなど、優れた取り組みがみられている。しかし、多くの被災地では避難生活環境が厳しく、福祉避難所、在宅避難者への支援の必要性を痛感した。今後の支援活動につなげたい。

（３）自治体等での研修

横浜市、金沢市、富士市、伊賀市などで普及啓発研修、福祉施設BCP作成研修、福祉避難所マニュアル作成研修等の研修を数多く実施した。

（４）公開シンポジウム

会長による講演、および被災福祉施設職員を交えたパネルディスカッションを1回、実施した。

（５）調査研究等

台風15号、19号、21号、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震等の被災地で、本会会員らが調査研究、派遣研修、ボランティア支援等活動を実施した。これらの調査、研修を踏まえ、福祉防災計画のブラッシュアップ、マニュアルの見直し、研修資料の拡充を行った。

（６）連携の拡充

全国の自治体、社会福祉協議会、全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会、及びJVVOAD等ボランティア団体との連携により、研修先の拡大や調査研究の充実が図られた。

（７）認定コーチの合格5名及び次年度以降の研修委託事業の実施体制整備

2019年度は5名が福祉防災認定コーチに合格した。自治体、社会福祉協議会、福祉施設のニーズに合わせて、総合的な福祉防災計画だけでなく、津波・水害・土砂災害に対応する避難確保計画、地震災害に対応する福祉避難所計画のひな型、プレゼンテーション資料を作成した。

2019年度の成果を受けた新たな課題

(1) 研修事業

協会が主催する定期的な研修は都内で1回、(一財)消防防災科学センター様からの委託事業により、静岡県、和歌山県、三重県、山口県で福祉避難所マニュアル作成研修を実施した。また、市町村単位で福祉施設の事業継続計画(BCP)研修、福祉避難所マニュアル作成研修を実施した。この他に普及啓発型研修も多数、協会及びコーチが実施している。

なお、自治体、社会福祉協議会だけでなく、学校、地域団体、ボランティア団体等による研修依頼も多くなり、着実に実績が上がっている。

(2) 安全安心魅力施設の認定

安全安心魅力施設認定の基準作りが進まなかった。

安全安心魅力施設の認定を行うためには、福祉施設のBCPの作成・訓練・見直しによる実効性確保が不可欠であるが、BCP作成の普及研修に留まり、訓練については手付かずであった。

今年度、BCP評価基準を作成したので、今後、訓練、見直しの評価基準を作成し、安全安心魅力施設の認定に向け準備を進める必要がある。

(3) 福祉防災コミュニティの維持・発展

福祉防災認定コーチおよび研修修了者、関係者による会員制度はあるが、会員の拡大、モラールアップにつながっていない。今後、認定コーチには、積極的に既存の研修等で研鑽を積む必要がある。また、継続して得た知見、最新の防災情報などを、会員に提供する必要がある。

(4) 新たに顕在化した課題

① 福祉避難所整備の必要性

ふるさと納税を活用した「みんな元気になる福祉避難所」構想を多くの市町村で検討いただいたが、実装までは進まなかった。私たちの構想の熟度の低さとともに、市町村における福祉避難所整備の優先順位が低いことが改めて明らかになった。

② 水防法・土砂災害防止法への対応

2017年6月に改正水防法・土砂災害防止法が施行され、浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務づけられた。

これにより、計画作成施設の範囲が広がった。また、国土交通省が作成したモデルプランでは、避難までで終わっており、その後の福祉サービスの継続や福祉避難所機能については触れられていない。

③ 災害時の福祉支援ネットワーク

被災地ヒアリングの結果、被災現場では、福祉関係者が多数ボランティアとして活動するが、情報共有や活動支援の拠点がなく、支援に重複、抜け漏れ落ちが常態化している。そこで、福祉支援関係者が連携して、被災地を支える仕組みの構築が求められる。

2020年度の取組み内容

(1) 「みんな元気になる福祉避難所」事業を広く展開

企業版ふるさと納税をも活用して、自治体の金銭的負担なしで、特別支援学校を中心に、福祉避難所整備に必要なマニュアル、開設キット、トイレ、給電機等の普及を図る。

- ・福祉避難所マニュアル作成研修、及び開設BOX訓練を自治体単位で実施
- ・水のいないトイレ2台
- ・医療器具にも使える給電機1台
- ・コンテナその他必要な消耗品

以上のような福祉避難所資機材を自治体対象に普及し、全国的な福祉避難所ネットワークを築く。災害時には先遣隊を派遣し、福祉避難所立ち上げ、応援職員、支援物資の確保調整を行う。

(2) 防災スタートBOX、福祉避難所開設BOXの発売

本年度から、(社会福祉法人) 埼玉福祉会の協力を得て、災害発生後の初動対応をスムーズに進める防災スタートBOX及び福祉避難所開設BOXを発売する。また、これを使った防災訓練を下記の(一財) 消防防災科学センター研修等で行う。

(3) 都道府県、市区町村、社会福祉協議会を対象に、福祉施設の事業継続計画

(BCP) 研修、福祉避難所マニュアル作成研修を実施

本年度は、(一財) 消防防災科学センター様からの委託事業により、5県で福祉避難所マニュアル作成研修が決まっているほか、静岡県で3か所の同様な研修を実施する。自治体や社会福祉協議会から研修依頼や問合せが多くなっている。引き続き、研修担当事務職員1名が調整作業を行う。

(4) 福祉防災の関係者を研修講師「福祉防災認定コーチ」として養成

教科書学習、研修参加、レポートの3段階で実施する。

- ・自宅でのテキスト学習
- ・福祉防災計画基礎研修およびチェック研修に参加
- ・理解度確認テスト及び3千字以上のレポートを提出

以上で、良好な評価を得たものを「福祉防災認定コーチ」として認定する。

上記、(1) (2) 事業を通じて、受託が多くなった場合は、専門コンサルタンツと連携して、研修講師の確保を図る。また、必要に応じて講師養成研修を実施する。

（５）新テキストの出版

これまでのテキストをブラッシュアップし、スフィア基準（岡野谷監事）、福祉避難所（高橋副理事長）の解説を拡充した改訂版テキスト「ひな型で作る福祉防災計画」を、6月に（公財）東京都福祉保健財団から出版する。

（６）福祉防災コミュニティの維持・発展

福祉防災認定コーチおよび研修修了者、関係者による会員制度を継続する。今後、認定コーチには、積極的に既存の研修等で研鑽を積めるように声掛けをし、上級コーチへの移行を進め、モラルアップを図る。研修等を継続して得た知見、最新の防災情報などを、クラウドサービス「kintone（キントーン）」を利用し、会員に提供する。

上記事業等により、個人会員50名、法人正会員10施設、法人賛助会員1法人を目標とする。

（７）被災した福祉関係者への人的応援、及び応援調整

福祉防災コミュニティのメンバーを中心に、被災した福祉関係者に必要な人的応援、および応援調整を行う。このため、JVOADと連携して災害時の福祉活動について調査を実施する。また、災害時に効果的な対応ができるように、調査研究、被災地派遣研修、ボランティア支援等活動を随時、実施する。

（８）協会が認定する「安全安心魅力施設」の基準作り

福祉防災計画を作成し、訓練、見直しなど良好なマネジメントができている福祉施設を「安全安心魅力施設」として認定するための基準作りを行う。

法人情報

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-21ちよだプラットフォームスクエア

電話 044-455-6230 / Fax 044-455-6240

E-Mail fukushibousai@gmail.com

URL <http://fukushi-bousai.jp/>



事務局

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口3-25-10 日本ミクニヤ株式会社内

【添付資料】

- ・ 第4回決算報告書

決算報告書

(第 4 期)

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

殺社団法人 福祉防災コミュニティ協会

東京都千代田区神王錦町三丁目21番地

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,198,070	2,521,723	1,671,344
天収入金	0	67,081	△ 67,081
前払費用	16,500	30,300	△ 13,800
流動資産合計	4,209,570	2,619,107	1,590,463
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
保証金	30,000	30,000	0
その他の固定資産合計	30,000	30,000	0
固定資産合計	30,000	30,000	0
資産合計	4,239,570	2,649,107	1,590,463
II 負債の部			
1. 流動負債			
天払金	1,774,064	2,264,512	△ 490,448
前受金	0	10,000	△ 10,000
預り金	7,672	0	7,672
短期借入金	1,500,000	500,000	1,000,000
天払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	3,351,736	2,844,512	507,224
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,351,736	2,844,512	507,224
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	887,834	195,405	1,083,239
一般正味財産	887,834	195,405	1,083,239
正味財産合計	887,834	195,405	1,083,239
負債及び正味財産合計	4,239,570	2,649,107	1,590,463

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取人会金	0	0	0
受取会費	60,000	95,000	A 35,000
賛助会員受取会費	60,000	95,000	Δ 35,000
事業収益	5,927,550	3,500,931	2,426,619
事業収益	5,927,550	3,500,931	2,426,619
受取補助金等	0	763	Δ 763
受取式等助成金	0	763	Δ 763
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	8	5	2
受取利息	8	5	2
経常収益計	5,987,558	3,596,700	2,390,858
(2) 経常費用			
事業費	2,796,008	2,888,508	A 92,500
通信運搬費	174,228	100,404	73,824
消耗品費	298,350	44,362	253,988
賃借料	293,290	325,362	A 32,072
委託費	2,030,140	2,418,380	A 388,240
管理費	2,038,311	1,101,446	936,865
交際費	17,440	0	17,440
会議費	8,241	18,870	Δ 10,629
旅費交通費	966,388	866,450	99,938
謝会費	50,000	50,000	0
租税公課	4,000	11,400	Δ 7,400
支払手数料	992,242	154,726	837,516
経常費用計	4,834,319	3,989,954	844,365
評価損益調整前経常増減額	1,153,239	393,254	1,546,493
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,153,239	393,254	1,546,493
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,153,239	393,254	1,546,493
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
一般正味財産増減額	1,083,239	463,254	1,546,493
一般正味財産期首残高	A 195,405	267,849	A 463,254
一般正味財産期末残高	887,834	195,405	1,083,239

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産準減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	887,834	195,405	1,083,239